

高岡市社会教育系施設個別施設計画

令和3年3月

高岡市

1 本市の公共施設マネジメントの取組み

本市では、これまで人口の増加や住民ニーズなどに応じて公共施設を整備してきましたが、現在、これらの施設の老朽化が進行しています。今後、人口減少や少子高齢化が進行し、厳しい財政運営を強いられることが見込まれる中、近い将来、老朽化した施設に対する多額の改修・更新費用が必要となることを見込まれます。

このため、本市では、公共施設の総合的かつ計画的な管理を進めるため、2016年3月に「高岡市公共施設等総合管理計画（以下「管理計画」という。）」を策定し、公共施設マネジメントの基本方針を「施設総量の適正化」「長寿命化の推進」「施設の有効活用」と決めました。

さらに、2018年3月には、公共施設マネジメントを強力に推進していくため、個々の施設の集約化、複合化、譲渡、廃止、コスト削減など、今後の具体的な方向性の指針となる「高岡市公共施設再編計画（以下「再編計画」という。）」を策定し、公共施設の総延床面積を2035年度までに15%削減する目標を達成するため、施設再編に取り組んでいます。

今後も維持していく施設については、管理計画に掲げる基本方針に基づき、耐用年数以上の使用を可能とするよう長寿命化を推進するため、「高岡市社会教育系施設個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）」を策定します。

2 計画の位置づけ

個別施設計画は、管理計画の下位に位置づけられる計画です。

3 対象施設の概要

分類	施設名	所在地(地番)
図書館	戸出図書館	戸出町三丁目 2275
博物館等	美術館	中川一丁目 954-1 外
	博物館	古城 11 の内
	ミュゼふくおかカメラ館	福岡町福岡新 559 外
	万葉歴史館	伏木一宮一丁目 114
	鋳物資料館	金屋町 8-1
	福岡歴史民俗資料館	福岡町下向田字畦ヶ谷内 15
	重要文化財「武田家住宅」	太田字旦保 4258-1
	高岡御車山会館	守山町 47-1 外
	高岡御車山会館収蔵物	利屋町 21
	御車山収蔵庫	末広町 1179 の内
	伏木北前船資料館	伏木古国府 498-1 外
	土蔵造りのまち資料館	小馬出町 26-1 外
	福岡町島田邸	福岡町福岡 1003 外
	伏木気象資料館	伏木古国府 474-2 外
	福岡鯉の里公園資料館	福岡町矢部 784
埋蔵文化財センター	西広谷字堂前 249 外	

※個別施設計画で対象とする施設は、2020年3月31日現在で保有する建築物である。

4 計画期間

10 年間 (R3 年度～R12 年度)

5 対象施設の状態等

(1) 建物状況 (R1 年度)

施設名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数 (年)	構造	耐用年数 (年)	資産老朽化比率 (%)	劣化度 (点)	耐震性 (点)
戸出図書館	499.76	S60	34	RC	50	66	26	100
美術館	9,227.63	H5	26	RC	50	52	31	100
博物館	1,905.21	S26	68	RC	50	100	20	2
ミュゼふくおかカメラ館	1,369.16	H11	20	RC	50	36	23	100
万葉歴史館	2,513.32	H2	29	SRC	50	51	28	100
鋳物資料館	212.85	H18	13	W	24	50	17	100
福岡歴史民俗資料館	436.24	S62	32	RC	50	62	46	100
重要文化財「武田家住宅」	457.42	不明	不明	W	24	100	16	100
高岡御車山会館	2,579.02	H26	5	RC	50	8	6	100
高岡御車山会館収蔵物	139.05	1695	324	土蔵造	14	67	7	100
御車山収蔵庫	547.35	S58	36	RC	38	97	22	100
伏木北前船資料館	767.58	不明	不明	W	24	88	17	100
土蔵造りのまち資料館	528.91	不明	不明	W	24	71	16	100
福岡町島田邸	264.93	不明	不明	W	22	100	32	100
伏木気象資料館	239.45	不明	不明	W	24	59	15	100
福岡鯉の里公園資料館	175.43	H14	17	S	38	43	14	100
埋蔵文化財センター	2,422.66	S62	32	RC	50	64	14	100

※高岡御車山会館収蔵物の建築年度は西暦。

資産老朽化比率は、35%～50%程度が平均的な値といわれており、対象施設は、平均で66%となり老朽化が進行しています。

劣化度は、改修を行った施設や日頃から丁寧な管理、利用が行われている施設は、築年数に関わらず劣化度が低くなります。

耐震性は、耐震化不要の建物を100点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を0点とし、対象施設は一部を除き耐震化不要となっています。

(2) 利用状況・収支状況(R1年度)

施設名	利用者数 (人)	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
戸出図書館	26,120	0	19,648	▲19,648
美術館	109,995	0	128,480	▲128,480
博物館	63,367	0	33,117	▲33,117
ミュゼふくおかカメラ館	17,520	0	32,921	▲32,921
万葉歴史館	63,336	0	90,841	▲90,841
鋳物資料館	6,320	0	2,928	▲2,928
福岡歴史民俗資料館	2,440	167	4,564	▲4,397
重要文化財「武田家住宅」	1,036	201	4,614	▲4,413
高岡御車山会館	25,316	3,672	38,034	▲34,362
高岡御車山会館収蔵物	25,316	0	0	0
御車山収蔵庫	-	0	0	0
伏木北前船資料館	4,611	0	3,844	▲3,844
土蔵造りのまち資料館	3,542	0	3,178	▲3,178
福岡町島田邸	391	0	530	▲530
伏木気象資料館	3,590	0	2,707	▲2,707
福岡鯉の里公園資料館	500	0	3,016	▲3,016
埋蔵文化財センター	3,261	0	3,616	▲3,616

6 対象施設の今後の方向性

再編計画において、対象施設の今後の方向性を示しており、各施設の判定結果等は次のとおりです。なお、方向性が維持（コスト削減、利用促進を含む）の施設は、今後、長寿命化により維持していくこととします。

再編計画（抜粋）

施設名	実施基準 判定結果	スケジュール			摘要
		短期 (2018- 22)	中期 (2023- 27)	長期 (2028- 35)	
戸出図書館	維持				
美術館	方針決定	方針決定			あり方検討を行い、今後の方針を決定。
博物館	方針決定	方針決定			同上

施設名	実施基準 判定結果	スケジュール			概要
		短期 (2018- 22)	中期 (2023- 27)	長期 (2028- 35)	
ミュゼふくおかカメラ館	利用促進、 コスト削減				
万葉歴史館	利用促進、 コスト削減				
鋳物資料館	利用促進				
福岡歴史民俗資料館	利用促進、 コスト削減				
重要文化財「武田家住宅」	利用促進				
高岡御車山会館	コスト削減				
高岡御車山会館収蔵物	利用促進				
御車山収蔵庫	更新				財政状況を踏まえ、計画的に更新（時期未定）。
伏木北前船資料館	利用促進				
土蔵造りのまち資料館	利用促進				
福岡町島田邸	廃止	廃止			
伏木気象資料館	利用促進				
福岡鯉の里公園資料館	利用促進、 コスト削減				
埋蔵文化財センター	維持				

7 長寿命化の考え方

管理計画において、公共施設マネジメントの基本方針の1つとして「長寿命化の推進」を掲げています。「今後も保有し続ける必要性のある施設については、対症療法的な「事後保全」から計画的な「予防保全」による維持管理にシフトし、定期的な点検・診断等により、劣化・損傷の程度や原因等を把握・評価し、優先度に応じた修繕を行うことにより、LCCの縮減を図るとともに、安全・安心を確保しながら期待される耐用年数以上の使用に努める」としており、この基本方針に基づき長寿命化を推進します。

対象施設は、計画的な保全に努めてきたことから、一部の不具合を除き、躯体等に関する大きな問題はなく、今後、定期的な点検・修繕等を実施の上、必要があれば個別施設計画を見直すこととし、更なる長寿命化を図ることとします。

8 対象施設の対策費用

対象施設における設備の更新や改修等に要する今後 10 年間の対策費用は 0.7 億円です。ただし、実際の対策費用は、工事発注時における詳細な設計や今後の災害等の発生状況、社会情勢の変化を踏まえながら算定します。

○用語解説

行	用語	解説
カ行	公共施設マネジメント	公共施設の総合的かつ計画的な管理を行う仕組み
サ行	資産老朽化比率	建物の取得価額に対する減価償却累計額の割合。資産の老朽化度合を表す指標で、35～50%程度が平均的な値といわれており、100 %に近いほど老朽化していることを表す
	事後保全	施設、設備が故障した段階で修繕を行うこと
タ行	耐震性	耐震化不要の建物を 100 点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を 0 点とし、各棟の床面積で加重平均した値
ヤ行	予防保全	施設、設備を計画的に点検・修繕し、故障を未然に防ぐこと
ラ行	LCC（ライフサイクルコスト）	施設の計画、設計の段階から建築、維持管理、解体に至るまでに必要な費用の総額
	劣化度	施設管理者が行う部位ごとの点検結果(A～D の 4 段階評価)を点数化したもの。点数が大きいほど劣化が進行していることを意味する